

平成31年4月5日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人

北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「北海道の国際交流・協力活動」について

企画実施概要： ①企画内容

講演

②目的 美唄市では、タイや台湾からの研修生受け入れをスタートしており、今後は国際交流・協力を力を入れてゆこうとしている。その中で、美唄地域の更なる国際交流・協力への理解の促進を促し今後の美唄地域の国際化を進めることを目的とする。

③対象者および参加予定人数

NGO関係者及び一般市民 30人

2 出張者氏名

池田 誠

3 依頼元／主催団体名

美唄市民サークル「ease（イーズ）」

4 実施予定日時

平成31年3月3日（日） 10：00～12:00

5 実施場所

美唄市社会福祉協議会会議室（美唄市西3条南3丁目6番2号）

6 実施報告

国際交流・協力ではまだまだ活動が活発に行われていない地域にあって、2年前からタイの研修生が来ることで徐々に関心を持つ人が増えてきている状況にあった。そのタイミングで、地域でできる国際交流・協力事業について、予算面も含めて具体的に話すことで、集まった人たちの理解が深まった。参加者の中には行政関係者他、市議会議員や企業の人も参加しており、地域の国際化に向けて、きちんと説明をし、効果についても話ことができた。この地域が、一層の国際化に向けた展開を進めることを応援するとともに、今後も情報提供に努めてゆきたい。

7 写真



講義の様子



講義とワークショップに参加した人たち

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 国際理解講座 スマホから考えるSDGs

企画実施概要： ①実施内容
秋田市にある国際協力NGOパニヤンツリーとの共催として実施。スマホの原材料の調達について扱ったワークショップを実施。最後は、ワークショップの中で扱った課題とSDGsの関連に触れ、SDGsの達成に向け自分たちで出来ることについて話し合った。

【ワークショップ内容】

ODA事業である弊団体の海外での事業の紹介。

②対象者および参加人数：NGO、一般市民、JICA推進員 計19人

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元/主催団体名 主催：認定NPO法人IVY（特活）パニヤンツリー

4 実施予定日時 平成31年3月17日（日） 14：00 ～ 16：00

5 実施場所 にぎわい交流館あう（AU）秋田県秋田市

6 実施報告 （参加者の感想）

- ・日常当たり前のように使っているスマホが作られるためには、レアメタルが必要なことまでは知っていたが、どこでどのような人たちが関わっているかまでは知らずにいたことに気付いた。
- ・アフリカの途上国と言われる国々から、わたしたちが何気なく使用している様々な文明の利器の原料が多く産出されていること、それらを巡って紛争まで起きていることが印象に残った。
- ・環境のためにエコな使用をするのはもちろん、人権についてもよく理解した上でスマホを使用すること。そして、常にグローバルな世界の動向を理解しようとする姿勢が必要である。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成31年4月5日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 講演「武力によらない平和づくり ～アフガニスタンにおける対話を通じた事例から～」
- 企画実施概要:** ①企画内容:群馬県桐生市にある市民団体からの依頼で、当団体職員を講師として派遣する。(昨年度から継続、ただし実施場所は近隣の太田市)
②対象者および参加人数:主催者および周辺住民約20名

2 出張者氏名 加藤 真希(アフガニスタン事業担当)

3 依頼元/主催団体名 桐生「対話の会」

4 実施予定日時 平成31年3月2日 (土) 14:00～16:00

5 実施場所 太田市浜町勤労会館中会議室A(住所:群馬県太田市)

6 実施報告

・該当企画において、アフガニスタンの文化背景や近年の現地状況、治安状況に関して、最新の情報を交えて提示した。続いて当団体の活動(特に対話を通しての紛争予防活動)を紹介することで、国際的な課題を身近に感じる機会を提供した。

・「紛争解決は、最終的には『対話』でしか実現しないと思った」「現地のJVC事務所周辺の様子の映像は、言葉を超えるインパクトがあった」「現地の人たちが平和を望んでいることが伝わってきた」などの感想をいただいた。

7 写真



当日の会場で登壇する加藤。

(写真1)



講演中でも質問があると随時対応する加藤。小規模な会だったため、一人ひとりに丁寧に対応した。

(写真2)

以上

平成31年4月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「伊勢市国際交流フェスティバル」における相談対応サービス

企画実施概要: ①実施内容
三重県伊勢市で開催される「伊勢市国際交流フェスティバル」において、来場者への相談対応業務を行った。

②対象者および参加人数
来場者 約650人

2 出張者氏名

吉田 文

3 依頼元／主催団体名

伊勢市国際交流フェスティバル実行委員会

4 実施予定日時

平成31年3月3日 (日) 10時00分 ~ 16時00分

5 実施場所

伊勢市ハートプラザみその (住所:三重県伊勢市御園町)

6 実施報告

「伊勢市国際交流フェスティバル」において、JICAとの共同ブースを出店し、出張相談業務を行った。来場者と話す限りでは、多くは会場付近に住む方々であると思われ、子どもから高齢の方まで幅広い年齢層であった。また、そのほとんどが家族連れの参加であった。来場者へ相談員チラシをお渡ししてNGO相談員の存在や役割、制度の活用方法を幅広い層に伝えることができた。実際の相談件数は2件であり、NGO団体設立について、および、NGOへの就職相談であった。まずは国際協力への興味関心を向上させていくこと、また関心を持った方が無料で相談できる、NGO相談員制度があることを広く知らせていく必要性を強く感じた。

7 写真



JICAとの共同ブースを出店したことにより、JICAブースを訪れた多くの方に制度の説明やチラシのお渡しをすることができた。

(写真1)

当日の相談は、これまでボランティアとして国際協力に関わってきた方からの、国際協力分野への就職方法および団体設立方法であった。

(写真2)

以上

平成31年3月29日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: イスラーム映画祭のトークイベントにおける講演

企画実施概要: ①実施内容: イエメン映画をメイン・プログラムとする今年度の同映画祭で、映画上映後のトークイベントにおいて「“世界最悪の人道危機” イエメン内戦とそこに生きる人々」というテーマで講演を行った。
②対象者および参加人数
一般の観客 157名

2 出張者氏名 藤目 春子

3 依頼元／主催団体名 イスラーム映画祭 藤本 高之

4 実施予定日時 平成31年3月16日 (土) 18時00分 ~ 19時30分

5 実施場所 渋谷ユーロスペース(東京都渋谷区)

6 実施報告 今回のイベントでは、イスラーム映画祭(イエメン特集)の一環として実施されたトークイベントに登壇し、イエメン紛争や、イエメン難民の現状について講演を行なった。そのため、国際協力に関心の低い参加者も多かった。参加者からは、「イエメンに食糧を配給し、イエメンの方たちの事を忘れておらず希望になっていることに大変感銘を受けた」「自分に何ができるのかを考えるきっかけとなった」などの感想をいただいた。報道されることの少ないイエメンの現状について伝え、NGOの活動への関心を喚起することができた。

7 写真



普段報道されることのないイエメンの現状について、現地の人たちの声を通して伝えられた。

(写真1)



講演終了後、短い映画祭の休憩時間を利用して質問する参加者が何人もおり、イエメン情勢を伝える意義が感じられた。

(写真2)

以上

平成31年4月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人
PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

但馬農業高校での国際協力についての講演

企画実施概要:

①実施内容 国際協力の概要とアジアの農村の現状及び、国際協力における農業の必要性について講演を行った。

②対象者および参加人数 高校1・2年生約150名、職員約20名

2 出張者氏名

芳田弓生希

3 依頼元／主催団体名

兵庫県立但馬農業高等学校

4 実施予定日時

平成31年3月5日 (火)

10:50 ~ 12:20

5 実施場所

兵庫県立但馬農業高等学校(兵庫県養父市)

6 実施報告

学生から、「日本にいる自分たちには当たり前の生活・日常が、途上国では違うということがわかった。」「アジアの国の現状が良くわかった」「内戦やカースト制度など難しい課題があることが画像を見ることでよくわかった」との感想があった。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 神戸国際交流フェア2019でのNGO相談員ブースの出展

企画実施概要: ①実施内容
神戸の国際化の推進を進めるために、3月10日に開催された神戸国際交流フェアにて、NGO相談員ブースを出展し、来場者の国際情勢や国際協力に関する相談に応じ、情報を提供した。

②対象者および参加人数
ブース訪問者 370名（イベント全体参加者数 想定15,000人）

2 出張者氏名 八木 純二（中西美樹を予定していたが当日体調不良のため交代）

3 依頼元／主催団体名 神戸国際交流フェア実行委員会

4 実施日時 平成31年3月10日（日） 10:30～17:00

5 実施場所 ハーバーランドセンタービルB1F、スペースシアター
（兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目3-3）

6 実施報告 神戸の国際化の推進を進めるために、1997年から開催されている神戸国際交流フェアが開催された。当日はハーバーランドという場所柄もあり、多くの買い物客や観光客もこの催しを訪れた。PHD協会はNGO相談員として、ブースを出展し、普段、国際交流や国際協力、海外とは縁遠いと思っている人々にも身近なことだと感じてもらえるようなPRを行った。

不特定多数の人々が行き来し、神戸国際交流フェア目当て以外の参加者が多かった。NGO相談員のブースを訪れる人々の海外に情勢やNGOの活動、日本の国際協力への取り組みに対して、深く理解し興味のある人々ばかりではなく、ほとんど認識していない人々も多く見受けられた。

出張者はブースを訪れた人々全てに丁寧に対応し、資料を配布し、わかりやすく国際協力やNGOの取り組みを説明した。

ブースを訪れた人々は一様に関心を寄せてくれ、中にはとても勉強になったと声をかけてくれる人もいた。

また、ODAやNGO相談員そのものにも関心を持つ人もあり、制度の説明や利点をPRすることができた。

7 写真



(キャプション)NGO相談員ブース全景

(写真1)



(キャプション)相談員がブース訪問者に対応している

(写真2)

以上

平成31年3月30日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
N G O 福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「ひゅうがイースターフェスティバル」への相談員ブース出展

企画実施概要：

①実施内容

宮崎県の県北・日向にて開催され、地域では唯一国際色が垣間見られるイベントへ「NGO相談員ブース」を出展。ブース出展はJICAデスク宮崎と共同し、国際協力のパネル展示やアピールを行った。国際協力に興味がある学生・市民を対象にNGO相談コーナーを設置し、JICAデスク宮崎推進員の協力のもとNGO相談を受け付けた。さらにボランティア・インターン・NGOの活動などについて情報提供を行った。

②対象者および参加人数

国際協力に興味がある学生・市民：約500人

2 出張者氏名

原田君子 / 住本大輔

3 依頼元／主催団体名

JICA国際協力推進員（宮崎デスク）

4 実施日時

2019年3月24日(日) 12:00～16:00

5 実施場所

会場名：日向市駅前交流広場「ひむかの杜」（宮崎県日向市）

6 実施報告

地元大学の留学生と地域の子供たちとの交流イベントが行われる中、国際社会を身近に感じてもらうための施策として、クイズや相談コーナーを設けた。クイズのための教材は答えの部分をめくって確認するといった形になっており、動きとビジュアルを組み合わせることで楽しくSDGsを学ぶことができる。参加した子供たちに好評で、今後も有効活用していくことにしている。

7 写真



隣にはJICAブースが出展。当団体側では国際協力について興味を持つ一般の方が身近にかかわるための方法を紹介したり、疑問に答えるといったこ

(写真1)



JICAブース側でSDGsの缶バッジを作った方に対して、SDGsについての詳しい説明を行うといった対応も行った。

(写真2)

以上

団体名

特定非営利活動法人

NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

佐賀での協働事業の提案とNGO相談業務の周知

企画実施概要：

①実施内容

国際協力に関心を持つ学生・市民、あるいは関心を持たない層へ働きかけ、「SDGsから学ぶ」ことを企画することで国際協力・NGOについて一人でも多くの関心層を増やすため、佐賀県国際交流協会新理事長、JICA国際協力推進員（佐賀）、佐賀で活動しているNGO団体の3者で、佐賀でのSDGsの取り組みをヒアリング。近県として協働事業を模索し連続講座やセミナー企画の実現を探る。

②対象者および参加人数

佐賀県国際交流協会理事長 / JICA国際協力推進員 / 佐賀で活動しているNGO団体

2 出張者氏名

原田君子 / 住本大輔

3 依頼元／主催団体名

JICA国際協力推進員（佐賀デスク）

4 実施日時

2019年3月29日(金)

13:00～16:00

5 実施場所

会場名：国際交流プラザ（佐賀県佐賀市）

6 実施報告

国際交流プラザおよび佐賀県内で行われる国際協力イベントの情報をヒアリングした。その中でNGO相談員としてサポートや活性化させるための施策の検討を行った。次年度の年間スケジュールを把握することで積極的な働きかけをできる準備が整った。

7 写真



地元のNGO団体にも同席してもらうことで、国際協力イベント内容やその活用方法・評価をより具体的にヒアリングすることができた。

(写真1)

以上